



今

我が愛する街・亀山市は、「変革の時」を迎えようとしています。合併から4年、人口は5万人を超えてクリスタルバレー構想の進展や新名神高速道路の開通など躍進を続けてきました。しかしながら、未来への不安やまちの急激な変化のなか、真の暮らしの豊かさを実感し持続できることが望まれています。まさに今、亀山市の転換期です。

市

民の皆さんの信頼が高まり、誰もが愛着と誇りをもって暮らせる亀山市を創るために、自立した独自の政策としくみへ転換しなければなりません。さらに今、亀山市に必要なのは、時代とまちの変化に適応し進化できる、市民に開かれた「希望と信頼」の市政ではないでしょうか。

新

・亀山市には、まだまだ可能性と魅力のひきだしがあります。恵まれた地域資源に磨きをかけ、子や孫の世代へ継承するために。私は、ここに『新生・亀山モデル～7つのカタチ～』と命名したマニフェスト(政策集)を市民の皆さんにご提示し、「小さくともキラリと輝く街・新生亀山」へのひきだしをご一緒に開けたいと考えます。



ニフェストとは、言いつぱなし・やりっぱなしの願望を述べただけの公約ではありません。4年後その結果をチェックいただけるよう、具体的な政策・財源・期限を明記した、市民の皆さんと交わす「約束」です。ぜひ、ご一読いただき、未来へのご選択をいただくことを強く願っています。

志村義之

す
ぐ
そ
こ
は
未
来
の
た
め
に

新生 亀山 モデル 7つの力タチ

～よつとじえ、小さくともキラリと輝く街へ～

- 1 公心の力タチ
市長の任期を最長3期12年に制限、約40億の市庁舎建設計画を一時凍結します。
- 2 安心の力タチ
小学校卒業までの医療費の無料化、市立医療センターを最優先で再生します。
- 3 文化の力タチ
「芸術文化基金」の創設、日本初の市民ミュージカル劇団を設立します。
- 4 環境の力タチ
脱・地球温暖化への亀山モデルの構築、全国最先端レベルの「地下水資源保全条例」をつくります。
- 5 教育の力タチ
独自の教育指針「亀山スタンダード」の確立、子ども総合支援室のセンター化を実現します。
- 6 元気の力タチ
関宿への観光入り込み数20万人の突破、若者・女性・団塊世代の起業化を支援します。
- 7 市民の力タチ
「亀山市民大学・キラリ」の開校、市民税の1%を市民活動の支援のために使います。

+3つの 戦略プロジェクト

私たちが愛する街・亀山市。その現状と未来を見つめ、この4年間で取り組む「7つのカタチ」に加え、長期的なまちづくりとして「3つの戦略プロジェクト」を推進することを、本マニフェストは約束します。

絵になる街をデザインする!

■「宿場町＆城下町」景観プロジェクト

東海道五十三次の3つの宿場町を有し、城下町としてのたたずまいを残す亀山市。昭和59年に国指定・伝統的建造物群保存地区となった関宿。そのまちなみ保存の四半世紀のノウハウを活かし、「旧・東海道の町屋再生／関の山車会館の整備／亀山城跡の復元」を実現します。また、美しく快適な街をめざし、建築・開発・土地利用等における「景観規制ガイドライン」を制度化します。

1

食と農によるまちおこし!

■「健康でおいしい街」食プロジェクト

「スローフード=不老フード」運動を提唱します。飲食店・生産農家・女性の皆さんとの協働・参画により、ご当地名物と長寿食の開発、地産地消と有機農法の推進、食に関するイベントの開催、食と農業にたずさわる人材の養成、安全で特色ある学校給食、関ロッジのレストラン部門の再生など、食に関する多彩な事業展開により「健康でおいしい街」をつくります。

2

新生・亀山市の顔づくり!

■「JR亀山駅前」再生プロジェクト

表玄関としての「JR亀山駅前ならびに周辺地区」を再生します。緑と憩いの公共空間の形成、観光・商業・住機能の再配置、バス・ターミナル機能の充実、パーク・アンド・ライドの整備、駅舎ならびに周辺のバリアフリー化など、中心市街地活性化法や土地区画整理等の多様な事業手法の活用を検討した上で、「小さくとも個性ある新生・亀山市の玄関口」をつくります。

Katachi

公のカタチ 信頼の開かれた市政へ!

**市長の任期を最長3期12年に制限、
約40億の市庁舎建設設計画を一時凍結します。**

情報公開と首長の多選禁止は、21世紀の自治体経営の標準装備品です。「絶対的権力は絶対に腐敗する」というイギリスの歴史家・アクトンの言葉があるように、強大な権限をもつ市長の任期を制限するとともに、開かれた市政をめざします。また、現在5年後の市庁舎の移転・新築計画が検討されていますが、今それ以上に優先して取り組むべき課題があると考えます。よって、中長期的財政見通しや都市計画の視点も含め、深く検討します。

期限:4年以内

- ◆市長交際費の全面開示など、市役所の透明性を高めます。 **期限:すぐに**
- ◆年に1度わかりやすく、市の財政や事業の進捗状況を「市政つうしんぽ」として作成し、各戸へ配布します。 **事業費:4000万円 | 期限:1年以内**
- ◆市長直轄の都市計画専門チームの新設、関支所の窓口機能の強化など市民サービス向上のための組織体制をつくります。 **期限:1年以内**
- ◆外部の第三者の視点から市の事務をチェックする、「外部監査制度」を導入します。 **事業費:1200万円 | 期限:4年以内**
- ◆主に退職された団塊世代の皆さんの知識と経験を、市の政策形成にいかす専門員制度を創設します。 **事業費:3600万円 | 期限:2年以内**
- ◆県内最先端レベルのインターネットなどによる「eモニター制度」を実施し、市役所の公聴機能と情報環境を高めます。 **事業費:5000万円 | 期限:2年以内**
- ◆隣接する4市との政策連携が、ますます重要です。鈴鹿市・津市・伊賀市・甲賀市(滋賀県)との広域連携を進めます。 **期限:すぐに**

※これらの事業費は、新たに始める事業分で、4年間の総額の試算です。
現時点での試算困難なものは、要検討と記載しています。

◆子育て世代の皆さんニーズに応えるため、子育て支援のアイディアを広く募集し、5つのモデル事業を選定して速やかに実施します。 **事業費:2000万円 | 期限:すぐに**

◆高齢者の皆さんの介護予防への対策を強化します。また、保健士等を増員して、日々の不安や悩みについて身近な集会所で相談できる安心の体制をつくります。 **事業費:1億円 | 期限:2年以内**

◆世界基準の健康都市をめざし、WHO健康都市連合に加盟します。 **期限:1年以内**

◆障がい者(児)の皆さんの就学・就業・自立支援策を拡充します。特に、小規模作業所を新たに2ヶ所、グループホームを1ヶ所整備します。 **事業費:5000万円 | 期限:2年以内**

◆がん対策を強化します。特に、県下で低い状況にある乳がん・子宮がんの検診率を30%(現在:乳がん15%／子宮がん10%)まで高める助成制度をつくります。 **事業費:7500万円 | 期限:2年以内**

◆住宅の耐震診断と耐震改修など減災対策の支援強化、市北東部への消防分署(支所機能も含む)の設置を検討します。 **事業費:2000万円 | 期限:3年以内**

◆夜間の犯罪抑止に向けて、年間100ヶ所への防犯灯(環境に優しい省エネ型)の整備を行います。 **事業費:2000万円 | 期限:1年以内**

◆三重県一おいくらい安い水道水の供給レベルを維持するとともに、活性炭や微生物による活性浄水処理の方策を検討します。 **期限:4年以内**

安心のカタチ 命と優しさのために!

**中学校卒業までの医療費の無料化、
市立医療センターを最優先で再生します。**

地域医療への信頼感がゆらいでいます。そのため、市役所に地域医療の担当チームを新設し、地域医療全体の再構築プランを確立します。とりわけ、市立医療センターにおける医師不足等による医療サービスの低下、年間約4億円の赤字補填などの待ったなしの現状に対し、経営形態・特色化・待遇改善・関係機関との協力などにより、最優先で再生します。一方、中学校卒業までの医療費の無料化(4年間の試算で3億6000万円)を実現します。 **事業費:3億6000万円+要検討 | 期限:すぐに**

2

Katachi

安心のカタチ

Katachi

3 文化的カタチ

日本一の文化首都をめざして!

「芸術文化基金」の創設、 日本初の市民ミュージカル劇団を設立します。

街と暮らしの輝きには、芸術・文化・遊びの要素が不可欠です。個性的な輝きを発するための、文化政策を重視します。将来の芸術文化拠点などの施設整備、多彩な人材育成や文化活動の支援、地域に残る伝統芸能などの保存・継承のために、芸術文化基金を創設します。また、今までに培ってきた市民ミュージカルなどの経験を活かして、市民・専門家・市文化会館等の参画・協働による、日本初の市民ミュージカル劇団を設立します。

事業費:7000万円 | 期限:3年以内

◆「健康文化」という新しい理念を提唱し具現化します。そのために、医療・福祉分野を志す学生・若者に対する奨学金制度をつくります。

事業費:1800万円 | 期限:すぐに

◆大工さん・建具屋さんなどの建築技能者、工芸や食などの分野におけるマイスター(職人)養成のための研修・留学支援制度を創設します。

事業費:3000万円 | 期限:2年以内

◆国内外の環境文化先進都市・友好提携都市との交流を進めます。

事業費:800万円 | 期限:3年以内

◆市文化財指定の「関の山車・鈴鹿馬子唄・傘鉾」に対して、県への働きかけを強め、県文化財指定を実現します。

期限:4年以内

◆市内各所に残る歴史・芸能・文化的資産などを「亀山遺産／まちの記憶」と命名し、デジタル映像として保存・継承します。

事業費:2000万円 | 期限:1年以内

◆図書館・学校における年間図書購入費を2倍にします。

事業費:4800万円 | 期限:2年以内

◆鈴鹿馬子唄会館や名阪森林パークなどの緑豊かな市内各所でのミニ音楽祭の開催、アートによるまちづくりなどを支援します。

事業費:1200万円 | 期限:2年以内

◆現在40数%である「生活排水処理率の大幅向上」に向け、下水道未整備地区の整備手法と計画を見直します。

期限:2年以内

◆野登地区から加太地区へと連なる鈴鹿山系において、自然破壊につながる開発行為を原則認めない環境保全区を指定します。

期限:すぐに

◆環境林の間伐など、延べ面積1000ha(現状値500ha)を適正管理します。

期限:1年以内

◆市内の主要街路を緑でつなぐ「緑の回廊構想」を策定し、市街地の緑化を進めます。

事業費:5000万円 | 期限:4年以内

◆雨水の地中への浸透促進のため、個人・集合住宅の生垣や浸透ます設置のための助成制度を創設します。

事業費:2000万円 | 期限:4年以内

◆住宅用太陽光発電の設置促進のため、独自の支援制度(年間100基)を創設します。

事業費:2000万円 | 期限:2年以内

◆「CO2削減(2030年/1990年比)」という挑戦的な目標を組み込んだ、「グリーンプラン・2030」を策定します。

期限:3年以内

◆木材・芝草・糞尿などバイオマスの利活用による、大学・企業などによる先駆的な研究や事業化に対して、国・県の支援制度と連動して側面支援します。

事業費:要検討 | 期限:2年以内

◆自転車の利用促進の提唱、公共施設等における駐輪場の設置を拡大します。

事業費:4500万円 | 期限:2年以内

環境のカタチ

水と緑を守り伝える!

脱・地球温暖化への亀山モデルの構築、 全国最先端レベルの「地下水源保全条例」をつくります。

将来世代への継承責任として、脱・地球温暖化へ率先して取り組みます。現在のマイバッグ推進運動や会胡(エコ)の森などの支援にくわえ、CO2排出量取引(カーボンオフセット)を利用した森林・里山の保存整備、地域材利用促進のための木材マイライジ制度などの新たなしくみをつくります。一方、市民生活を支える地下水を守るために、全国最先端レベルの地下水源保全条例を制定し、県内をリードする環境対策の亀山モデルを構築します。

4

Katachi

環境のカタチ

Katachi

5 教育のカタチ

広がる笑顔、教育&子育ての街へ！

独自の「教育指針・亀山スタンダード」の確立、子ども総合支援室のセンター化を実現します。

かつて県下唯一の教育の街と称された亀山。生きる力や真の学力を育み、多様な子どもを地域で育てることのできる「教育&子育ての街」をめざします。そのために、中央からの教育改革でない、市独自の「教育実践の指針・亀山スタンダード」を策定します。また、子どもと保護者の皆さんのがえる悩みや課題解決への相談・支援機関である、現在の子ども総合支援室の機能拡充をはかるため、タテ割りを打破してセンター化を実現します。

事業費:2000万円 | 期限:2年以内

◆知育・德育・体育の理念に加え、食育(食への理解を育む)・緑育(環境への理解を育む)・街育(街の文化への理解を育む)の3つの理念を具現化します。

期限:すぐに

◆11すべての小学校区に放課後子ども対策の拠点を整備します。当面、西小・井田川小・昼生小の3学区への学童保育所の設置・拡充を急ぎます。

事業費:3000万円 | 期限:すぐに

◆「亀山少人数学級」実現へ。市単独予算による専科教員・講師等を増員配置します。

事業費:3億2000万円 | 期限:2年以内

◆すべての中学校への学校給食を導入します。さらに、亀山コロッケを定番の献立に加えるとともに、給食食材における地産率50%(現在25%)を実現します。

事業費:1億円 | 期限:2年以内

◆自然科学への探究心を深めるため、「科学の祭典in亀山」を拡充開催し、企業や理科教員のOBの皆さんによる「スーパー・サイエンス・ティーチャー」制度を創設します。

事業費:1700万円 | 期限:2年以内

◆小学校校庭の芝生化(モデル的に1校)、小中学校のサマースクール・特別支援教室への冷房設備100%完備を実現します。

事業費:6000万円 | 期限:3年以内

◆「亀山っ子」を育む青少年健全育成活動の支援のため、退職された教職員の皆さんの知識・経験が活かせる、新たにしきみをつくります。

期限:1年以内

◆「有機農法・堆肥化センター構想・担い手の育成」などにより、農業を再生します。また、坂本棚田を減反の対象からはずし、耕作放棄地を市民農園として活かします。

事業費:6500万円 | 期限:2年以内

◆農林特産品である亀山茶・じねんじょ・鈴鹿山麓牛などの市場競争力の向上と、新たな亀山ブランドをつくるための応援制度をつくります。

事業費:4000万円 | 期限:すぐに

◆今後の企業誘致、市内に立地いただく事業所の社会貢献活動(地元雇用を含む)に対する、日本初の「CSR(企業の社会貢献活動)優遇制度」を検討します。

事業費:要検討 | 期限:1年以内

◆活力ある長寿社会をめざし、「シルバー人材センター」の活動を後方支援します。

事業費:1200万円 | 期限:1年以内

◆東の玄関口である「井田川駅前の再生」を、市民の皆さんのご意見を踏まえ実現します。

事業費:要検討 | 期限:2年以内

◆「歩いて楽しい中心市街地」への都市計画の転換と、積年の課題である市南東部の将来構想をつくります。

事業費:1000万円 | 期限:3年以内

◆国道1号線関バイパス・25号線・306号線ならびに県道/亀山関線・駅前高塚線や鈴鹿亀山道路などの整備を、国・県に強く働きかけます。

期限:すぐに

◆「リニア・JR関西本線複線電化促進市民会議」のあり方を検証し、より効果的な新・鉄道政策として見直すとともに、コミュニティバスと連動した関駅・下之庄駅・加太駅の利便性を高めます。

事業費:要検討 | 期限:すぐに

元気のカタチ

産業・雇用、次なる一手を！

関宿への観光入り込み数20万人の突破、若者・女性・団塊世代の起業化を支援します。

観光を亀山市の重要産業の一つと位置づけ、強力に推進します。その観光・交流の核となる関宿の魅力を高めるため、「20万人突破戦略」と「関ロッジ再生構想」を策定します。一方で、それを担うチャレンジングな人材を育てることが不可欠です。観光分野で新しく起業しようとの志を持つ若者・女性・団塊世代を対象とした、開業資金等の応援制度を創設し、元気を生み出します。

事業費:8000万円 | 期限:2年以内

6 Katachi

Katachi

7 市民のカタチ キラリ輝く人と街へ!

「亀山市民大学・キラリ」の開校、 市民税の1%を市民活動の支援のために使います。

自治と絆づくりを重要視します。また、現在のかめやま環境市民大学を進化させ、市民の皆さんの生涯学習拠点として、環境・文化・健康に関する3学科をもつ「亀山市民大学・キラリ(仮称)」を開校します。一方、市民活動やボランティア活動などを後押しするために、個人市民税の1%を納税者が選択する市民団体などに助成できる、市民活動1%支援条例を制定します。

事業費:9000万円 | 期限:2年以内

◆市内25の地区コミュニティを単位に予算配分し、その地域の判断と責任で課題解決をはかる「地域予算制度」を創設します。
事業費:1億2000万円 | 期限:1年以内

◆市内11の小学校区を単位に、民と民の協働事業を支援する「パートナーシップ制度」を創設します。
事業費:3300万円 | 期限:2年以内

◆「市民協働センター・みらい」へ専門コーディネーターを配置し、市民活動・ボランティア活動・NPO活動などの育成と支援機能を充実します。
事業費:2400万円 | 期限:2年以内

◆川崎・神辺・関南部地区に、新しいタイプのコミュニティセンターを整備します。また、モデル的に各種証明書の発行などのサービスが提供できる体制をつくります。
事業費:要検討 | 期限:4年以内

◆男女共同参画をかけ声だけに終わらせず、現在20数%である審議会等への女性登用率を40%まで高めます。
期限:4年以内

◆地域のタウン誌などの育成支援、地域FM局の設置可能性を検討します。
事業費:5000万円 | 期限:2年以内

◆公園・街路樹等の清掃や管理などに対する、地域の皆さんによる「里親制度の条例」を制定します。
期限:すぐに

◆スポーツ・レクリエーション指導者の育成、市内2ヶ所の総合型スポーツクラブの設置、関地区運動会の継続開催を支援します。
事業費:1000万円 | 期限:1年以内

行財政改革と財源

■財政情報の共有を進め、病院事業や関口ツジ事業なども含む連結バランスシート、中長期財政計画を作成し公表するなど、「公会計改革」をはじめます。

■単年度での予算の使いきりをなくし、次年度の予算編成へ反映させるしくみを導入する一方、既存の施設・財産の管理のあり方を見直し利活用します。

■市民参加による「事業仕分け制度」をバージョンアップし、支出の無駄をなくすとともに、市の議決機関である市議会でのオープンな論議を重視します。

■財源調達のリスク分散、市政参画意識の向上の観点から、「ミニ市場公募債」を発行します。

■これらにより、4年間で15億円以上の財源を新しく生み出し、『新生・亀山モデル』の新たな事業を推進してゆきます。

現在は、幸いにして優良な財政構造をもつ亀山市においても、5~10年スパンでの中長期的視野に立てば不透明感が残ります。先の米国発・金融危機による国・地方財政への影響が避けられない局面にある今、これら「7つのカタチ+3つの戦略プロジェクト」を実現するためには、将来を見通した徹底した行財政改革と創意工夫の財源確保など、確かな経営手法が不可欠です。



桜井よしうき
プロフィール

1963年2月25日生まれ。神戸高校・関西大学社会学部卒業。民間コンサルティング会社での東京・広島勤務を経て帰郷。1991年、亀山市議会議員選挙に初当選、政治家としての第一歩を踏みだす。1995年、三重県議会議員選挙に初挑戦、以来4期連続当選。三重県議会第101代副議長・予算決算特別委員長・リニア建設促進議員連盟会長などを歴任する。2008年10月、新たなる志により議員辞職。現在、三重県軟式野球連盟副会長・灯おどり保存会会長・亀山少年少女合唱団後援会会長など奮闘中。映画と温泉をこよなく愛する庶民派。座右の銘は、着眼大局着手小局。

※本マニフェストは、市政全般のすべての事業を記載している訳ではなく、新たな展開を始めようとするものを記した政策集です。当然、道路・下水道などの社会基盤整備、高齢者タクシーチケット助成などの福祉施策等は、着実に進めます。